



号外

立憲民主党
立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区
平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax.03-6811-2302

立憲民主党

りゅう
笠ひろふみ から皆さまへのメッセージ [リュウズ クラブ] vol.106

RYU'S CLUB

立憲民主党入り

自民党一強体制を終わらせて、 正直で公正な政治を取り戻す!



菅総理大臣の退陣表明に伴う自民党総裁選が行われ、10月4日には国会で新総理が選出されます。新内閣発足を受けて、衆議院議員総選挙は11月に実施される見通しです。新型コロナウイルスの感染が拡大し、医療現場が逼迫する中で、私たち野党は、7月からコロナ対策を議論するための臨時国会召集を憲法に基づいて要求してきましたが、菅政権はこれを拒否し続けました。

コロナとの闘いは、国難ともいえる事態であり、本来であれば、通常国会（6月16日閉会）の会期を大幅に延長して、国会は休むことなくコロナに対応すべきでした。デルタ株の流行や東京五輪の開催などにより、夏に感染が爆発的に拡大することは、早くから複数の専門家が指摘していました。しかしながら、菅政権は、根拠なき楽観論に立ち、こうした事態に備えた医療体制の整備を怠り、医療現場が逼迫し、入院することが出来ずに自宅療養中に亡くなる事例も多数に上りました。救える命を救うことができなかった責任は極めて重いと思います。

安倍・菅政権が9年近くにも及び、総理官邸と幹事長など一部に権力が集中する体制が続く中で、国会が軽視され、国会に提出される資料の改ざん、情報の隠ぺい、官邸に対する一部官僚の忖度など、議会制民主主義の根幹が揺らぎかねない事態を招いています。自民党一強体制の下で、政治とカネを巡る問題で、自民党の国会議員が逮捕や起訴される不祥事も相次ぎました。

権力は必ず腐敗します。だからこそ、時に政権が交代することが必要です。自民党の表紙を代えたとしても、自民党の一強体制を変えなければ政治を変えることはできません。来るべき総選挙は、今後も自民党一強体制を続けるのか、これを終わらせるのかという大事な選択の機会となります。

私は、昨年の通常国会から無所属の立場で、野党第一党の立憲民主党の会派で活動してきましたが、この度、立憲民主党に入党して総選挙に臨むことに致しました。もう一度政権交代を目指し、少なくとも与野党の勢力が伯仲、拮抗する状況をつくることで、政治の緊張感を取り戻し、国民に正直で公正な、開かれた政治を行うために全力で頑張っています。



りゅう 衆議院議員 元文部科学副大臣
笠ひろふみ

■ 立憲民主党神奈川県第9区総支部事務所 〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1644-1 新川ガーデンビル1F

TEL.044-900-1800 FAX.044-900-1011 www.ryu-h.net

<https://www.facebook.com/103hirofumiryu> https://twitter.com/hirofumi_ryu



笠ひろふみ、総選挙に向けての決意!

立憲民主党入りを決断!

総選挙に向けた野党の候補者擁立が進められる中、8月下旬より立憲民主党の幹部より「党の公認候補として一緒に戦って欲しい」という熱心な誘いをいただきました。昨年より、立憲民主党会派の一員として国会活動を行ってきましたが、次の総選挙に臨むにあたっては、与野党逆転が目標ですが、少なくとも野党が議席を伸ばし、与野党伯仲の状況をつくり出し、政治の緊張感を取り戻さなければならないという認識の下、小選挙で勝利するために、野党系無所属で臨むべきか、立憲民主党の公認候補として臨むのかについて、非常に悩みました。

こうした中、菅総理が退陣することになり、今回の選挙は、9年近い安倍・菅体制の政治を総括した上で、今後も自民党一強体制を続けていくのか、これを終わらせるのかという選択をしていただく、「与党」対「野党連携」の大きな枠組みでの決戦となります。

当然ながら、野党第一党の立憲民主党の責任と役割は今まで以上に大きくなります。立憲民主党が中心となって、もう一度、自民党に対抗できる勢力をつくりあげていかなければなりません。立憲民主党の中には、政府与党の立場で仕事をした議員も多数います。私自身も党に所属して、これまでの経験を活かしながら、政権を担うべく期待と信頼を寄せただけの勢力となれるように頑張っていきたいという思いで、今回、入党を決断いたしました。

将来への明確なビジョンを示すことが必要!

民主党が政権から転落した2012年12月の総選挙以降、衆議院3回、参議院3回の国政選挙は、全て

自民党の勝利でした。9年近くの安倍・菅政権の自民党一強体制を続けさせた責任は私たち野党にあります。この間、政権への批判、不信が高まって、マスコミ各社の世論調査では、“他に期待できる政党がない”という理由で、自民党支持や支持政党なし層が多数に上り、野党に受け皿としての期待が高まらない状況が続いています。敢えて申し上げますが、立憲民主党も変わらなければならないと思います。野党の役割として政府の対応を厳しくチェックしていくことも重要ですが、追及や批判に終始するのではなく、今まで以上に建設的な提案を行い、政策を立案し、実現していく姿を示していかなければなりません。

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本が抱える多くの構造的な課題を浮き彫りにしました。大地震や集中豪雨などの自然災害に備えた『防災』に加えて、ウイルスとの闘いに備えた『防疫』も重要な課題となります。医療体制の見直しや国産のワクチンや治療薬の開発促進に向けた体制づくりは急務です。国と地方の役割分担の明確化や東京一極集中の見直しの議論も必要です。経済格差の顕在化、デジタル化の遅れ、働き方改革、少子化の加速など、難しい問題に直面しています。コロナと共存する社会、そしてコロナ後の社会をどうしていくのかを構想する力こそが政治に求められています。私は、立憲民主党が、こうした課題についての明確なビジョンを示すことができる政党になるよう行動していきたいと思っております。

2003年11月9日に初当選して以来、皆さまのおかげで6期連続当選を果たし、国会議員として18年間活動させていただいております。

コロナ後の社会を築き、日本の将来を担うのは子どもたちです。今後とも、『人づくりなくして国づくりなし』の信念の下、誰もが意欲があれば生涯を通じて学ぶことができる社会をつくるため、教育政策と子育て世代への支援を充実させるように全力をあげてまいります。



立憲民主党入党にあたっての記者会見

笠ひろふみからのお願いです!!

笠友会(後援会)会員募集

各種イベントのご案内、年に6回程度の会報誌の送付等を行っています。

寄附のお願い

一口1000円からご協力を頂ければ幸いです。尚、寄附は控除の対象となりますので、詳しくは事務局にご相談ください。

ボランティア募集

駅頭でのビラ配り、ポスティング、事務作業等にお力をお貸しください。

ポスター掲示のお願い

ご自宅やご友人のお宅にポスターを貼らせてください。ご協力いただける方はご一報をお願いします。

詳細は <http://ryu-h.net> TEL.044-900-1800